

令和5年9月吉日 所長 海老澤政昭

デイの子どもたちの夏休みが終わりました。残暑厳しく、猛暑日が続いています。体調に留意し、季節の移り変わりに対応していきましょう。

すでに、稲刈りが始まった地区もあります。猛暑日が続く中でも、季節は確実に変わりつつあります。前期のまとめ作業も始まり、後期に向けての準備が忙しくなってきました。10月には面談も始まりますのでご協力をお願いします。

さて、8月のサロンの際に、参加してくれた保護者の方々に令和5年度第10回ごうでいんぐ感謝祭に向けての協力をお願いさせていただく中で、今後の保護者活動（保護者会）に対する提案も併せてさせていただきました。障害を持つ仲間たちの事業所にとって、地域とのかかわりは極めて重要なことです。これまでも、ごうでいんぐが運営を始める前には地域に対してお願いをしてきています。原田地域では町内会、福祉推進会、組合等々をお願いをし、開所式にも参列していただきました。神戸地区に移る際にも同様に町内会への説明を実施してきています。おかげさまで、両地区とも快く受け入れていただき、とても感謝しています。ごうでいんぐの名前の由来については以前お伝えしたと思いますが、「神戸（ごうど）から、新たな地域創造を始めよう」（godo+ing 新語）からきており、そして、ようやくこの神戸地域と連携した活動が始まりつつあります。この活動は、法人・事業所だけでは、ゆたかな活動を継続していくことはできません。関係するそれぞれがそれぞれの立場で、それぞれの活動を絡めながら歩いていくことが大切と考えています。現在、ごうでいんぐを利用している仲間たちの生涯を通しての活動を展開していくためにも、保護者活動は重要なこととなります。

現在、町内会に加盟しない方々や各地域の活動体への参加者も減りつつあります。同じように、保護者会（PTA や子ども会等々）に参加したくない、という声があることも承知しています。参加したくないのには確実に理由があります。参加しやすい体制やそれぞれに参加の仕方、方法等々の再検討も必要でしょう。さまざまな意見を取り込み、考えていきたいと思っておりますのでご協力よろしくをお願いします。

神戸地区限定 暮らし支え合い『やまぼうし』

日常のちょっとしたお困りごとをお手伝いします！

ごうでいんぐ岩世ヶ原では、神戸地区にお住いの高齢者等の方々へ、無料でお手伝いを行う地域連携事業をスタートしました。しばらくは、所長と就労継続支援B型の仲間と行う予定です。詳しくは、神戸地区の各ご家庭に配布されましたパンフレットを見て頂き、当事業所へご連絡ください。パンフレットは、放課後等デイサービスの子どもたちが、ハンドペインティングでぞうの親子を表し、耳にはやまぼうしの葉をアレンジしてみました。

今後は、生活介護の仲間たちや放デイの子どもたちも参加でき笑顔がいっぱい溢れる「やまぼうし」の活動にしていきたいと思っています。また、憩いの場として、カフェでランチなども召し上がっていただけるとありがたいですね。

【編集後記】

8月は、生活介護やB型、放デイなどで様々な夏のイベントが行われました。各地では、熱中症やコロナ陽性など注意すべき対策もまだまだ続いています。お出かけの際は、ご用心ください。

保護者サロンでは、今後の感染症対策や秋に開催されるごうでいんぐ感謝祭における多くのアイデアを頂きありがとうございました。

楽しく地域の方々やより多くの保護者等が参加して頂ける感謝祭にしていきたいと思っております。

